EUROPEAN PATENT OFFICE

Patent Abstracts of Japan

PUBLICATION NUMBER

10298058

PUBLICATION DATE

10-11-98

APPLICATION DATE

: 01-05-97

APPLICATION NUMBER

09113772

APPLICANT: AJINOMOTO CO INC:

INVENTOR: ABE HIROSHI;

INT.CL.

: A61K 7/50 A61K 7/00

TITLE

: BATHING AGENT

ABSTRACT: PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a bathing agent exhibiting excellent bathing effect and excellent in effects such as moisture-retaining effect, prevention of roughened skin and heat insulation by using a specific amino acid as an active ingredient.

> SOLUTION: This bathing agent contains a polyacidic amino acid as an active ingredient. Formulation amount of the polyacidic amino acid to the bathing agent is 0.01-30 wt.%. Polyglutamic acid or polyaspartic acid is preferably used as the polyacidic amino acid. The polyglutamic acid has preferably 3,000-500,000 molecular weight. A polyaspartic acid having 500-100,000 molecular weight is used as the polyaspartic acid. The bathing agent can be prepared in a dosage form of powder, granules, liquid or sold.

COPYRIGHT: (C)1998,JPO

(19) 日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出職公開番号

特)平10-298058

(43)公開日 平成10年(1998)11月10日

(51) Int.CL®

A61K 7/50

7/00

藏洲記号

FI

A61K 7/50

7/00

C

審査請求 未請求 請求項の数3 ()L (全 5 頁)

(21)出職器号

(22) (1) (22)

特額平9-113772

平成9年(1997)5月1日

(71)出職人 000000066

味の素株式会社

東京都中央区京徽1丁目15番1号

(72)発明者 小山 医子

神奈川県川崎市川崎区鈴木町1-1 味の

案株式会社中央研究所内

(72)発明者 阿部 度

神奈川県川崎市川崎区鈴木町1-1 味の

素株式会社中央研究所内

(54) [発明の名称] 沿用剤

(57)【製約】

本発明はボリ酸性アミノ酸、特にボリグルタミン酸を含 有することを特徴とする沿用剤であり、優れた入浴効果 を発揮し、保湿効果、肌荒れ防止、保温等の効果に優れ た洛田剤である。

【課題】 本発明の目的は、優れた入浴効果を発揮し、 保湿効果、肌荒れ防止、保温等の効果に優れた洛用剤を 提供することである。

【解決手段】本発明はッポリ酸性アミノ酸、特にポリグ ルタミン酸を含有することを特徴とする溶用剤である。

【特許請求の範囲】

【請求項1】ボリ酸性アミノ酸を含有することを特徴と する浴用剤。

【請求項2】ボリ酸性アミノ酸のの配合量が0.01~30重量%である請求項1記載の治用剤。

【 譲求項3】 ボリ酸性アミノ酸がボリグルタミン酸又は ボリアスパラギン酸である請求項1及び2記載の洛用 剤。

【発明の詳細な説明】

[00001]

【産業上の利用分野】本発明は酸性ボリアミン酸、特に ボリグルタミン酸またはボリアスパラギン酸を含有し保 湿効果、肌能均防止、保温等の効果に優れた治用剤に関 する。

[0002]

【従来の技術】従来、入浴効果を高めるための治用剤としては、麻酸ナトリウム、炭酸水素ナトリウム、セスキ炭酸ナトリウム等を主剤とした粉末または颗粒状の治用剤や、ラノリン、ラノリン誘導体、イソプロビルミリステート、イソプロビルアルコール、スクワラン等の各種動植物油脂及びそれらのエステル類等の柔軟剤を主剤とした液状の沿用剤等が知られている。これらの治用剤には保湿効果を高めたり、肌荒れを防止する効果、肌をしっとりなめらかにする効果や保温効果といった種々の効果の向上を目的として各種の保湿剤が添加される。

【0003】しかしながら、保湿剤のうちグリセリン、ソルビトール、プロビレングリコール、プチレングリコール等のボリオール系のものは吸湿性、保湿性に劣り、つっぱり感を与え、しっとり感が弱く使用感に難点がある。一方、乳酸ナトリウム、PCAソーダ等は吸湿性には優れるものの、電解質であるために乳化阻害作用があり乳化系の溶剤剤に使用することができない。一方、ヒアルロン酸、コラーゲン、カルボキシメチルデキストラン、キチンリキッド等の高分子系のものは入治時にべたつきやめめり感を生じやすいという欠点があり、洛用剤には適さなかった。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】本発明の目的は、優れた人治効果を発揮し、保湿効果、肌荒れ防止、保温等の効果に優れた治用剤を提供することである。

[0005]

【課題を解決するための手段】本発明者らは上記課題を解決するため鋭意検討を行った結果、ボリ酸性アミノ酸、特にボリグルタミン酸及び、又はボリアスパラギン酸が入浴時に人皮腐に存在する活性成分蛋白分解酵素等の働きを受け、一部分解し、アミノ酸、ペプチド又はより低分子のボリアミノ酸に分解されること、その結果入浴後に至っても人皮腐に吸着したこれらの成分の効果により人皮膚の保湿効果に優れることを見いだし、治用剤として用いる本発明を完成するに至った。すなわち本発

明はボリ酸性アミノ酸、具体的にはボリグルタミン及び 又はボリアスパラギン酸を含有することを特徴とする 治用剤である。

[0006]

【発明の実施の形態】本発明で用いられるボリグルタミン酸としてはグルクミン酸エステル・Nカルボン酸無水物の重合体から誘導される合成ーα、アーボリグルタミン酸あるいは各種菌株からの発酵生成物として得られる天然ボリーα、アーブルタミン酸でもよい。グルクミン酸はD体、上体又ラセミ体酸でも良く、中和されていても良い。塩としてはナトリウム。カリウム、リチウム等のアルカリ金属塩アンモニウム塩、エタノールアミン塩、ジエタノールアミン塩、トリエタノールアミン塩、リジン、アルギニン等の塩基性アミノ酸塩等の水溶性塩が用いられる。またボリグルタミン酸塩は多塩基酸であり、本発明に用いる塩の中和度はその水溶液がpH3からpH10の範囲で目的に応じて任意に選ぶことができる。

【0007】本発明で用いられるボリアスパラギン酸としては無水マレイン酸から誘導される合成ーα、βーボリアスパラギン酸が用いられる。ボリアスパラギン酸は D体、し体又ラセミ体、α体、β体でも良く、中和されていても良いい。傷としてはナトリウム、カリウム、リチウム等のアルカリ金属塩アンモニウム塩。エタノールアミン塩、ジエタノールアミン塩、トリエタノールアミン塩、リジン、アルギニン等の塩基性アミノ酸塩等の水溶性塩が用いられる。またボリアスパラギン酸塩は多塩基酸であり、本発明に用いる塩の中和度はその水溶液がレ日3からp日10の範囲で目的に応じて任意に選ぶことができる。

【0008】本発明に用いるボリグルタミン酸の分子量は1000から100万の範囲であるが保湿効果、ぬるつきべたつき感がない点から3千から50万が好ましい。特に保温効果を持たせるためには皮膚の分子量の比較的小さいボリグルタミン酸が皮膚となじみやすく好ましい。

【0009】本発明に用いるボリアスパラギン酸の分子 量は500から10万の範囲であり、保湿効果、ぬるつ きべたつき感がない。特に保温効果を持たせるためには 皮膚の分子量の比較的小さいボリアスパラギン酸が皮膚 となじみやすく好ましい。

【0010】本発明の洛用剤へのボリ酸性アミノ酸、特にボリグルタミン酸及び/又はボリアスパラギン酸の配合量は、0.01~30重量%、好ましくは0.05~10%である。0.01%以下では効果がなく、30重量%を超えるとぬるつきべたつきのない感触を損なうので好ましくない。各々単独で用いても又併用しても差し支えない。

【 0 0 1 1 】本発明の治用剤に配合されるポリ酸性アミ ノ酸、特にポリグルタミン酸及び三叉はポリアスパラギ

ン酸以外の治用剤組成成分としては、通常治用剤原料と して使用できるものなら特に限定されない。例示するな ら、塩化ナトリウム、硫酸ナトリウム、硝酸カリウム。 研酸ナトリウム、硝酸カルシウム、硝酸アルミニウム。 ボリ燐酸ナトリウム、塩化アンモニウム、硫酸器、燃酸 ナトリウム、硫酸マグネシウム、チオ硫酸ナトリウム。 炭酸水素ナトリウム、セスキ炭酸ナトリウム、硫化ナト リウム、ホウ砂、酸化カルシウム、炭酸マグネシウム、 塩化カリウム、草化カリウム、次亜硫酸ナトリウム等の 無機塩類、ホウ酸、メタケイ酸、無水ケイ酸等の無機酸 類、ビロリドンカルボン酸、アミノ酸、クエン酸等の有 機酸類、ソウジェツ、ビャクジュツ、カノコソウ、ケイ ガイ、コウゴウ、センキュウ、トウキ、ショウキョウ、 ニンジン、ケイヒ、シャクヤク、ハッカ、オウゴン、サ ンシン、ブンリョウ、ドクカツ、ショウブ、ガイヨウ、 マツブサ、ビャクシ、ジュウヤク、ショウノウ、サフラ ン。オウバアク、チンピ、ウイキョウ、カンビ、カミツ レ、メリッサ、ローズマリー、マロニエ、アルニカ等の 生薬、ハーブ類、タカ油、米ぬかエキス、オリーブオイ ル、大息油、流動パラフィン。アシルアミノ酸エステ ル、コレステロール、フィトステロール、ラフリン、ワ セリン、ローズヒップオイル等の油脂類。ラベンダー 油、ジャスミン油、レモン油、ローズ油、オレンジ油、 バイン油、デレビン油、ベルガモット油、ユーカリ油、 ゲラニオール、シトロネロール。フェニチルアルコー ル、ペンジルアセテート等の香料類、グリセリン、プロ ピレングリコール、ブチレングリコール、イソプロピレ ングリコール、ソルビトール、マンニトール等の多価ア ルコール類、ラウリル硫酸ナトリウム、ラウリン酸ジエ タノールアミド、ボリオキシエチレンラウリル硫酸塩。 ポリオキシエチレングリコールモノステアレート、アシ ルアミノ酸塩、アシルメチルタウリン塩、アシルアルギ ニンエステル等の界面活性剤類、その他、イオウ、鉱 動、ラウロイルリジン、湯の花、カゼイン、中性白土。

サリチル酸ナトリウム。カルボキシセルロースナトリウム、卵黄末、雲母末、脱脂粉乳、デキストリン、ポリビニルビロリドン、パラベン、EDTAなどがあげられる。

【0012】本発明の治用剤を製造するには、上記の他の治用剤成分にボリ酸性アミノ酸、特にボリグルタミン酸及び、又はボリアスパラギン酸を加え、パートミキサー、ナウタミキサー、万能撹拌混合機、リボンミキサー、ホモミイサー、V字混合機等の混合機にて常温で均一に撹拌混合することによって製造することができる。【0013】なお、本発明の治用剤組成物は粉体、顆粒、液体あるいは固体状等の剤形をとることができる。その形態は、そのまま振り出しタイプ、バスソルトタイプ、バブルソルトタイプあるいは発泡性タイプ等をとることができ、製造方法は治用剤組成物の形態により便宜選択することができる。

【0014】実施例により本発明をさらに詳細に説明する。実施例及び比較例中の配合量は重量%である。

[0015]

【实施例1】

〈浴用剤〉浴槽に40℃の浴湯を2001入れ、表1に示す各溶用剤組成物を30gを添加し専門パネル5名が各々3分間入浴し入浴後の肌荒れ回復効果、肌の感触(しっとり感、ぬるつきべたつきのなさ)および保温効果について官能評価を行った。評価は非常に良い:3、長い:2、普通:1、効果がない:0として平均値を算出し2、6以上を②、1、6~2、5を○、0、6~1、5を△、0~0、5を△であらわした。結果を表1に示す。表1から明らかなように、本発明の浴用剤を用いた浴用剤、肌荒れ回復効果、肌の感触保温効果に優れていた。

[0016]

【表1】

	実施例1	比較例1	比較例 2	比較例3	比較例4
炭酸水素ナトリウム	80,0	60.0	60.0	60, 0	60. 0
硫酸オトリウム	27.0	27. 0	27.0	27. 0	27. 0
ボリグルタミン酸(分子量10万)	10.0				
ホリグルタミン酸(分子盤500)		10.0		~	1
ポリグルタミン酸(分子量180万)			10.0	~	
プロピレングリコール				£0. 0	
キチンリキッド		-			10.0
香料	2. 2	2. 2	2. 2	2. 2	2, 2
経質無水ケイ酸	0.3	<i>0.</i> 3	6.3	6.3	0.3
<u>©</u> 22	5, 5	წ. ხ	9, 5	0. გ	0.5
肌荒れ回復効果				Δ	\triangle
ぬめりべたつきのなさ	0		Ā	Δ	×
しつとり感	(0)	۵	0	Δ	
保温効果			Δ	Δ	Δ

[0017]

< 液状溶用剤>配合処方例 プロセレングリコール PCAソーダ(50%)

トリメチルグリシン

【実施例2】

(重星"。) 15、0

19. U 5. 0

3.0

	ココイルアルギニンエチルエステル		0.1
	ボリアスパラギン酸(30%)	1.0	
	水楽添加ホホバオイル		2. 0
	ビログルタミン酸イソステアリン酸		2.5
	ボリオキシエチレン硬貨とつ	さら油	
	N-ラウロイル・L-グルタミン酸(コレス	. • !;;	2. 0
	テワール、ベヘニル、オクチルドデエカ	(ール) エステル	22.59
	ポリダルクミン酸(分子量1万)		10.0
			0.2
	防衛和		0. 2
	精製水		V. ⊒ 1%
[0018]		施图3]	X-94
•	<バスオイル>配合処方例		(重量%)
	N-ラウロイルーレーグルタミン酸(フィトス	· 🚎	10.0
	テロール、オクチルドデエカノール		2000
	流動バラフィン		40.0
	スクフラン		20.0
	モノオレイン酸ソルビタン		5. 0
	ボリオキシエチレン (15) オレイルエーテル		10.0
	Nーラウロイルグルタミン酸ナトリウム		0.3
	ボリグルタミン酸(分子量50万)		5.0
	香料		2.0
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		7. 7
[0019]		施門41	
	ベバスソルト>配合処方例	C 12: 5 5 K	(重量%)
	炭酸ナトリウム		45.0
	硫酸ナトリウム		40.0
	レーセリン		3. 0
	レープロリン		2.0
	ホウ砂		2. 0
	ボリグルタミン酸(分子量20万)		5.0
	塩化ナトリウム		2. 5
	色素		0.5
[0020]	[失]	施网5]	4 4 2
	≪バスソルト>配合処方例		(※彙※)
	乾燥硫酸ナトリウム		45.0
	セスキ炭酸ナトリウム		32.5
	ポリグルタミン酸 (分子量80万)		10.0
	様の業抽出液粉末		5.0
	N ~ ラウロイルリジン		5.0
	養術		2.0
	色素		0.5
(0021)	(朱)	植例6 】	
	ベバブルバス>配合処方例		(重量%)
	ボリオキシエチレン(5)ラウリル錠酸ナトリウム		20.0
	ボリグルタミン酸(分子量5000)		5.0
	「プロデュウ100」(味の素(株)製)		3. 0
	ラウリン酸ジエタノールアミド		5. 0
	香料		1.0
	防腐剂一殺菌利		0.2
	The Control of Control of		V3 V 12

	精製水		65.8
[0022]		【失施例7】	
	ベバブルバスン配合処方例		(派發派)
	コハク酸		35.0
	炭酸水素ナトリウム		30.0
	炭酸ナトリウム		15.0
	乾燥硫酸ナトリウム		5.0
	N - ステアロイル - レーグルタミン	酸ナトリウム	1.8
	ボリグルタミン酸(分子量5万)		12.0
	部分展アセチル化キチン		1. 1
	色素		0, 1
[0023]		【実施所8】	
	<バスソルト>配合処方例		(重量%)
	炭酸ナトリウム		45.5
	硫酸ナトリウム		45.5
	本ウ砂	•	2.0
	ポリアスバラギン酸ナトリウム		5. U -
	塩化ナトリウム		2.5
	色紫		0, 5
9			• • •

[0024]

【比較例1-4】表1に示した配合処方を実施例1に準拠し、評価した。結果を表1に併せて記載した。

[0025]

【発明の効果】本発明は優れた人治効果を発揮し、保湿 効果、肌荒れ防止、保温等の効果に優れた治用剤である。